

各部会報告資料

- ・子ども部会(P1)
- ・就労部会(P2~3)
- ・相談支援部会(P4~5)
- ・精神障がい者地域移行支援部会(P6)

平成30年2月23日

熊本市障がい者自立支援協議会

**平成 29 年度 第 4 回熊本市障がい者自立支援協議会
子ども部会活動報告**

【今年度の活動状況】

開催月	活 動 内 容
4 月	○ミニ研修「障がい者自立支援協議会について：熊本市障がい保健福祉課」 ○部会活動内容についての検討
5 月	○部会の今年度活動スケジュールについて（検討と確認） ○余暇支援マップの情報更新作業（「文化」「スポーツ」「親の会」に分かれ、情報の追加・修正等再確認作業）
6 月	○第 1 回障がい者自立支援協議会本会議の報告について ○事例検討（事例提供：発達協働センターよりみち）
7 月	○ミニ研修「養護施設及び乳児院における障がい児等の現状と課題について」（平成 30 年度改正に伴う保育所等訪問支援事業対象拡大にむけて） 養護施設「慈愛園 子供ホーム」、乳児院「熊本乳児院」より講話と意見交換
8 月	○事例検討（事例提供：熊本市障がい者相談支援センター いんくる） ○「余暇支援マップ」第 1 稿修正
9 月	○ミニ研修「移行支援シート運用の実際と巡回相談員の役割について」 熊本市教育委員会 総合支援課 特別支援教育室 木下 博之氏
10 月	○事例検討（事例提供：済生会熊本福祉相談支援センター・熊本市障がい者相談支援センターじょうなん）
11 月	○事例検討（事例提供：児童発達支援事業所 パレット）
12 月	○第 3 回熊本市障がい者自立支援協議会本会議報告 ○ミニ研修「第 5 期障がい福祉計画と第 1 期障がい児福祉計画（案）について」 ：熊本市障がい保健福祉課
1 月	○ミニ研修「愛着障害について」：尾道 幸子氏（熊本市手をつなぐ育成会）
2 月	○事例検討（事例提供：熊本市障がい者相談支援センター ウィズ）

【今後の活動予定】

今年度は年度当初から、ミニ研修を通じた部会員の資質向上と事例検討による課題の共有及び地域の現状についての理解を進めてきた。これまでにミニ研修を 5 回、事例検討を 5 回実施し、年度当初には余暇支援マップの更新作業を行い、8 月に更新版完成。3 月部会では今年度の部会の総括とともに、次年度の子ども部会の在り方を含め、具体的活動内容について検討予定。

3 月	余暇支援マップの情報更新作業・次年度の活動計画について
-----	-----------------------------

平成30年2月23日

平成29年度 第4回熊本市障がい者自立支援協議会 就労部会報告

今年度の取組について（案）

【目標】

- ・ 就労についての課題意識を共有するための連携
- ・ 誰もが参加しやすくなじみやすい就労部会

【部会全体の取組】

□ミニ研修の開催（計9回／年間）

- ・ 各専門家による講話や自立支援協議会本会議の報告説明等を行う

□就労フェア2018ーこの街ではたらくーの開催

- ・ 日 時：平成29年12月8日（金）午前10時～午後4時
- ・ 会 場：ウェルパルクまもと大会議室
- ・ 内 容：午前中ふらっと

障がい者サポート企業・団体認定式表彰式

障がい者就労セミナーとグループワーク

福祉事業所展示会・商談会

- ・ 参加者数：約140名

□新規業所の紹介や研修会の案内等の情報共有

【各班の取組】

□当事者対話班：当事者会メンバーと協力し、就労についての対話の場をつくる

※夕方フラットやおでかけフラットを開催している

※就労フェアの企業セミナーでのグループワークを担当

□企業就労班：一般企業への就労の可能性を考える

※雇用啓発冊子「しごといく Vor.6」を作成

※就労フェアで企業向けセミナー、障がい者サポート企業の表彰式を担当

□福祉就労班：工賃向上や仕事づくりと事業所同士の連携

※はーとアラウンド熊本と熊本市と協同し販売会を開催する（年5回）

※就労フェアで展示会・商談会を担当

□Be-スケッチ班：就労部会の各班や事務局をサポートする

※ホームページの更新やイベントのアンケート集計

運営委員会での取組

- ・ 部会長、副部会長、各班のリーダー、サブリーダー、事務局で構成
- ・ 部会の活動内容を具体化し、方向性を決める
- ・ 部会の中で吸い上げた参加者の意見やリーダーの意向等を協議し（検討）審議（決定）する

平成 29 年度 第 4 回熊本市障がい者自立支援協議会
相談支援部会報告

□全体の取組状況等

部会開催前に各班のコアメンバーを中心とした運営委員会を開催し、班ごとの進捗状況の確認や活動が行き詰っていないか等の確認作業を行っている。

1 月の運営員会にて平成 30 年度の班編成について協議を行う。「計画見直し班」については概ね協議内容に区切りがついたので、今年度一杯で終了。来年度新たに「拠点整備検討班（仮称）」を作る方向で話を進めている。

今後の動きとしては 2 月迄に部会員に班編成についてのアンケートを募り、3 月に班編成を確定させ新年度に向けてスムーズに動き出しができるようにと考えている。

□各班の取組状況等

【インフォメーションアップデート班】

- ・「相談支援ハンドブック」の見直し作業を引き続き行う。今後は、ヨカ余暇便利帳・インフォーマル情報の見直し・更新の検討を行う予定。

【計画見直し班】

- ・ケースの引継ぎがうまくいっていないのではないか？という意見を踏まえ部会員に引継ぎに関するアンケートを実施。現在それをまとめる作業を行っている。

【事例検討班】

- ・12 月に行った野中式事例検討の振りかえりを実施。事例検討前に部会員に対して「野中式事例検討とは？」の講義を入れた方がより盛り上がったのではないかとの意見もあり。

【ガイドライン班】

- ・モニタリングの増量の件に関しては提案書を提出したことで一区切りした状況。今後は「熊本市障がい者（児）の障害福祉サービス等に関する支給基準」（通称ガイドライン）の読み解きづらい点等を確認するため、まずは各区役所福祉課宛に実際に相談支援専門員からどのような点についての問い合わせが多いかの照会をかけ協議内容を検討予定。

【新規事業所フォローアップ班】

- ・引き続き座談会形式で開設 2 年以内の相談支援事業所からの困りごとに、ベテラン相談支援専門員が方向性や対応方法等を助言。新規事業所の方からも日頃の困りごと等を具体的に相談できるので好評を得ている。

□30 年度相談支援部会運営にあたっての検討事項等

	班名	班編成人数 ※H29.4 時点
1	インフォメーション・アップデート班	ハンドブック 9 人、KP 8 人
2	計画見直し班	8 人
3	事例検討班	11 人
4	ガイドライン班	10 人
5	新規事業所フォローアップ班	15 人

【H30 年度～ (案)】

	班名	備考
1	インフォメーション・アップデート班	人数を少し減らしてもよいのでは？
2	事例検討班	野中式ではなくグループスーパービジョンを取り入れたらどうか？ 但し、大人数では難。
3	ガイドライン班	要綱の検討を行うので、特定の方にもう少し参加して欲しい。
4	新規事業所フォローアップ班	バイザーの人数を 3 人程度に減らして、新規事業所の困りごとに対するミニ研修を 30 分程行ってもよいのでは？ 現在立ち上げ 2 年以内の方はこちらへの参加だが、その規定も検討が必要か？
5	拠点整備検討班 ※仮名、New	委託事業所の中で地域支援員の委託を受けた職員、各区、市職員等で編成し、H30～3 年間で整備予定のもの様々な検討を行えないか？

【年度内の動き】

- H30.1 運営委員会にて来年度の班編成・運営について協議
- H30.2 相談支援部会参加者に対し、班編成等についての意見聴取
希望する班についてのアンケート実施
- H30.3 班編成確定

平成 29 年度 第 4 回熊本市障がい者自立支援協議会
精神障がい者地域移行支援部会（障がい者自立生活体制検討会）報告

【今年度の主な取り組み】

長期入院精神障がい者への意向調査の結果を踏まえた取り組み目標として、①地域相談支援の活用と制度の検証、②地域移行支援制度の普及啓発（職員研修、ピアサポート活用拡大、啓発ツールの作成）、③各区の取り組みとの連携・情報共有、④高齢介護関係機関向けの研修企画を目標と、下記の活動を実施した。また、地域移行支援制度の啓発ツールとして、退院支援ポスター及びリーフレットを作業部会にて作成した。

	主な活動内容
5 月	事業説明、年間目標の確認、各区の取り組みに関する情報交換
6 月	研修会「事例を通じた地域移行支援のポイント」、グループワーク
7 月	厚生労働省会議報告、職員研修報告
8 月	研修会「障がい者の相談支援について」（①熊本市の障がい者相談支援体制、②障害福祉サービス・地域相談支援・計画相談支援について、③委託・指定相談支援事業所の業務について）
9 月	ピアサポート実践報告、ピアサポーターとの意見交換
10 月	第 5 期障がい福祉計画の中間報告説明、ポスター・リーフレット作成に係る意見交換、各区の取り組みの進捗確認
11 月	研修会「宇城圏域の地域移行支援の取り組み紹介」 各区の取り組みの進捗確認
12 月	第 5 期障がい福祉計画の素案説明 熊本県精神障がい者地域移行支援研修会報告
1 月	各区の取り組みの進捗確認、今年度の部会活動の振り返り
2 月	研修会「地域移行推進における退院支援の流れ・チームアプローチについて」 地域相談支援の事例紹介、グループワーク
3 月	厚労省会議報告、次年度の計画作成

【平成 30 年度の取り組み予定】

- 地域移行支援の事例検討
- 地域相談支援のマニュアル作成
- 退院支援ポスター及びリーフレット配布後の効果確認
- 相談支援事業所、高齢介護関係機関との交流
- 他職種の退院支援の取り組み紹介
- ピアサポート活動報告、意見交換